

中学生対象の実技講習会を行いました。

11月9日(土)に中学生を対象とした、「第2回 美術科実技講習会」を実施しました。県外からの生徒も含め、60名ほどの中学生が参加してくれました。中には、中学2年生の生徒さんもいて、芸術を志す原石のような姿を見せてくれました。



今回の実技講習会は、昨年度の入試で実施されたモチーフをもとに、着彩制作でした。「瓶と木材とホース」を自由に組み合わせての制作。モチーフの組み方から構図の考え方、制作をする際の心構えや作品としての強さなどについて触れながらの説明から始まりました。2時間20分という、完成させるには、少し短い時間帯でしたが、観察する目を養った時間となりました。

そして、制作後には、この日の作品を黒板に掲示しながらの講評会を行いました。「それぞれの作品の良い点」や、「今後どうすれば、もっとよくなるのか」などを中心に鑑賞をすることができました。

また、平素に制作した作品を持参してくれた中学生に対しては、個別に作品批評も実施しました。

作品はたくさん描いて、たくさん人に見てもらうことで、ぐんぐん伸びていきます。**事前に学校へ連絡を頂ければ、美術科教員が個別に作品講評【12月23日(月)まで】を致しますので、ぜひご連絡ください。**

